大正時代からの埋立地で、豊かに栄える島などの意味が込められているまち「豊洲」。美しい水辺に高層マンションが並び、現在も発展を続けている豊洲のまち並みをめぐります。

豊洲臨海エリアコース

1 臨港鉄道東京都専用線跡

東京都の貨物専用跡は、東京市が昭和5年(1930)に汐留駅から芝浦駅を結んだのがはじまりです。昭和28年(1953)に深川線が敷設。さらに晴海線、芝浦線、日の出線と増設され、東京港の貨物専用線総延長は、24km余りになりました。
昭和50年代に入ると、輸送革新が進むなどして、やがて深川線、晴海線が廃止になり、その跡地は現在ではマンション、オフィスビル、公園などに変わっています。

2 豊洲運河沿いの遊歩道

豊洲運河は豊洲・越中島・塩浜・枝川の間を流れる運河です。ここの遊歩道では開放的な水辺のまちとしての空間を感じることができます。

3 i-muse(アイミューズ)IHI HISTORY MUSEUM

造船、陸上機械から航空・宇宙まで様々な分野に事業を拡げ、新しい時代を築いてきたIHI(旧:石川島播磨重工業)の企業ミュージアムです。
これまで手がけてきた多様な製品に関する資料や歴史を見学することができます。

IHIの歴史や技術を伝える開放的な空間になっています。

4 晴海橋梁 ※令和7年度、遊歩道開通に向け整備中

中央区晴海と豊洲にある臨港鉄道東京都専用線の晴海線の鉄道橋です。春海運河に架かる橋梁として昭和32年(1957)11月26日に完成しました。
その後、臨港鉄道の衰退などにより、平成元年(1989年)に東京都専用線が全廃になった際に本橋梁も同時に供用廃止となりましたが、撤去されずに当時の姿のままの遺構として現存しています。

5 アーバンドック ららぽーと豊洲

たくさんのショップやレストランが集まる商業施設。
石川島播磨重工業の造船所跡地の再開発で、平成18年(2006)に誕生しました。
ドックからは水上バスも運航しており、夜にライトアップされるモニュメントのクレーンイルミネーションは必見です。

施設には、たくさんの店舗やレストランが入っています。

6 春海橋公園

春海橋公園は、アーバンドックパークシティ豊洲の大規模マンション、アーバンドック ららぽーと豊洲、豊洲公園、がすてなーにガスの科学館と一体的に開発された海上公園です。公園内には、かつてあった石川島播磨重工業の造船所を偲ばせるドックをはじめ、錨やクレーンなど様々なモニュメントがあります。

7 東電堀

東電堀は、豊洲5丁目の「昭和大学江東豊洲病院」と新豊洲の間にある入江です。もともと東京電力の火力発電所に隣接した船着場でした。

クルージング用の豊洲ぐるり公園乗船場や水陸両用バス「スカイダック」用のスロープもあります。

Start! 豊洲シビックセンター

600m

1 臨港鉄道東京都専用線跡

500m

2 豊洲運河沿いの遊歩道

600m

3 i-muse(アイミューズ) IHI HISTORY MUSEUM

250m

4 晴海橋梁

500m

5 アーバンドック ららぽーと豊洲

300m

6 春海橋公園

1400m

7 東電堀

850m

Goal! 豊洲シビックセンター

距離……約5km
目安所要時間……約150分

江東区文化観光ガイド

～区内のまちあるきガイドサービス～

●通年お申込みいただけます。
●原則として2名以上で、ツアー開催日の2週間前までにお申込みください。
●参加料:200円／1人

江東区文化観光ガイド事務局
受付時間 ： 9時～17時(土･日･祝日･年末年始を除く)
詳細はWebサイト「江東おでかけ情報局」をご覧ください。

江東おでかけ情報局
伝統 ・ 未来 ・ 水彩都市